

鹿児島県 西薩圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

- ・ 西薩圏域は、鹿児島県薩摩半島の西部と甑島の地域で、関係市町村は薩摩川内市（甑島含む）、いちき串木野市、日置市の3市で、関係漁協は川内市漁業協同組合（令和2年度末組合員数327名、年間水揚高321トン、2億円）、羽島漁業協同組合（令和2年度末組合員数85名、年間水揚高17トン、2千万円）、串木野市漁業協同組合（令和2年度末組合員数624名、年間水揚高3,726トン、27億円）、市来町漁業協同組合（令和2年度末組合員数143名、年間水揚高101トン、1.1億円）、江口漁業協同組合（令和2年度末組合員数185名、年間水揚高384トン、3.1億円）、吹上漁業協同組合（令和2年度末組合員数94名、年間水揚高86トン、6千万円）、平成18年に広域合併した甑島漁業協同組合（令和2年度末組合員数683名、年間水揚高754トン、4億円）、令和2年に広域合併した鹿児島県漁業協同組合（令和2年度末組合員数836名、年間水揚高2,199トン、10億円）の8漁協である。

※旧串木野市島平漁業協同組合が鹿児島県漁業協同組合に合併。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

- ・ 主な漁業は、船曳網、吾智網、刺網、一本釣りで、甑島ではクロマグロやブリ等の魚類養殖業も営まれている。また、いちき串木野市では、遠洋マグロ延縄漁業が営まれているが、水揚のほとんどを大消費に近い静岡県清水港等で行っている。
- ・ 主な魚種は、船曳網で漁獲されるシラス（イワシ類の稚仔魚）、ゴチ網で漁獲されるタイ類、刺網で漁獲されるヒラメ、マルアジ、バショウカジキ、一本釣りで漁獲されるイトヨリ、マアジ、甑島の刺網で漁獲されるキビナゴ、曳縄で漁獲されるヨコワ（小型のクロマグロ）等である。加工品では、本土側で、シラスを原料とするチリメンや青物などを原料とするさつまあげ等の加工業が盛んに営まれている。

③ 水産物の流通・加工の状況

- ・ 串木野漁港は、圏域内で漁獲される水産物が水揚されるほか、圏域外のまき漁船が水揚するなど、地域の重要な水産物の流通拠点となっており、地方産地市場を経由して県内や東京、大阪に出荷されている。また、漁港周辺に鹿児島の特産品である「さつまあげ」の加工場があり、水揚げされた水産物を加工し販売している。
- ・ その他、圏域内には地方消費地市場が薩摩川内市にあり、周辺漁港から水産物が集荷され、県内に出荷されている。小規模産地市場は薩摩半島西部に5箇所（串木野市島平地区、羽島漁港、戸崎漁港、江口漁港、吹上漁港）あり、甑島に9箇所（里港、平良漁港、小島漁港、中甑漁港、蘭牟田漁港、長浜港、青瀬漁港、手打漁港、片野浦漁港）ある。羽島漁港は土川漁港から、戸崎漁港は市来漁港からの水産物が集荷され、県内へ出荷されている。里港は里漁港から、中甑漁港は小島漁港、長浜港は芦浜漁港と瀬々野浦漁港から、手打漁港は片野浦漁港からそれぞれ集荷されて、県内へ出荷されている。
- ・ 代表的な加工品としては、串木野のさつまあげ、薩摩半島西部の吹上浜で漁獲されるシラスを利用したチリメンがある。

④ 養殖業の状況

- ・ 甑島の小島漁港でクロマグロの養殖が行われており、島内の民間加工場で裁割、包装後、フェリーを利用して国内へ出荷される。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

- ・ 当圏域の漁業を取り巻く環境は、資源状況の悪化、魚価の低迷、燃油資材等の高騰により、非常に厳しくなっており、組合員数も年々減少し、高齢化の傾向にある。

⑥ 水産業の発展のための取組

- ・ マダイ、ヒラメ等の放流事業や藻場保全活動による沿岸資源の維持・増大に取り組んでいるほか、鮮度保持・魚価向上のため、マダイ・ヒラメ等の活魚出荷の取組、漁協直営の直売所・レストラン（蓬莱館、市来えびす市場、照島海の駅など）の運営、ブランド化（甑の里シリーズ、ちりめん、生シラス、さつまあげなど）による水産物の付加価値向上や6次産業化に取り組んでいる。
- ・ 資源量については、他圏域と同様に、漁獲対象種の資源状態が低迷しており、漁業生産量が減少している。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

- ・ 生産・流通・加工・販売の経済活動を支える水産基盤整備については、水産資源の維持増大を図るための水産環境整備を計画的に進めるとともに、産地市場の衛生

管理対策、生産コストの縮減を図るための施設整備、及び、激甚化する台風等による浸水被害や南海トラフ地震等、切迫する巨大地震に対する漁港漁村の防災・減災対策が課題である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

- ・ 今後、10年程度で圏域内の漁港施設について、統合や廃止、同一漁港内での機能再編の予定は無い。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	生産力向上型	設定理由； 主に沿海部の天然資源を活用し、地域ブランド等の共通の取り組みを行い、水産物の生産、供給の強化を図っている。
② 圏域範囲	薩摩川内市、いちき串木野市および日置市	設定理由； 薩摩半島西部に位置する生産拠点港を基地として利用している範囲
③ 流通拠点漁港	該当なし	設定理由；
④ 生産拠点漁港	串木野漁港（第3種） 江口漁港（第2種） 中甕漁港（第4種） 藺牟田漁港（第2種）	設定理由； ・ 串木野漁港においては、荒天時に避難漁船を周辺の漁港から集約するなど、漁船の安全性を確保している。また、生産拠点漁港として、今後、地震・津波発生時の漁港利用者の避難対策を検討する。 ・ その他の生産拠点漁港は、今後、荒天時に避難漁船を周辺漁港から集約するなど、漁船の安全性を確保するとともに、生産拠点漁港として、地震・津波発生時の漁港利用者の避難対策を検討する。

⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；	
(令和元年)			
圏域の属地陸揚量(トン)	3,362	圏域の登録漁船隻数(隻)	1,155
圏域の総漁港数	19	圏域内での輸出取扱量(トン)	
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	3		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	西薩		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	クロマグロ		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	292		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	678		

<p>2. 圏域における水産基盤整備の基本方針</p> <p>(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化</p> <p>①流通拠点漁港等の生産・流通機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当圏域における競争力強化については、日差しや雨滴による漁獲物への影響に対し、係留施設に防曇・防雨対策のための屋根設置を計画し、水産物の安心安全な品質を確保することで、魚価向上を図る。 ・ 潮位差が大きく、陸揚げ作業等の漁労環境に支障をきたしているため、漁労作業を軽減し、作業の効率化を図るための浮棧橋等の整備等を行う。 ・ 薩摩半島西部の吹上浜に位置する漁港においては、漂砂等の影響により航路・泊地等が埋塞することから、漁業活動の支障となっている。このため、埋塞対策を進めるとともに、定期的な維持管理を実施していく。 <p>②養殖生産拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小島漁港でクロマグロの養殖が行われている。 ・ 今後、生産拡大等で漁場環境の改善や流通施設等の整備が必要な場合は積極的な支援を検討していく。
--

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

- ・ 当該圏域は、薩摩半島西岸に位置し、周辺海域は好漁場が形成されるが、近年の長期的な海水温上昇などの漁場環境の変化が見られるとともに、漁獲対象種の資源状態は低迷しており、漁業生産量が減少している。
- ・ 今後、さらなる漁場環境の変化が予測されるなど、漁業生産量が減少する恐れがあることから、水産資源の回復及び増大を図るため、魚礁設置等による漁場の整備や漁場環境の保全に取り組んでいく。
- ・ 魚礁設置後に漁獲調査や蛸集状況調査等によるモニタリングを実施し、結果を検討して得られた知見を積極的に次の漁場整備に活かし、整備効果の向上を図る。

② 災害リスクへの対応力強化

- ・ 当該圏域で産地市場を有する江口漁港などの生産拠点漁港においては、水産業が地域の基幹産業の一部を担っていることから、南海トラフ地震等切迫する大規模地震による被害の早期回復のため、施設の防災・減災対策を進めるとともに、漁港BCPを策定し、大規模地震等に備えることとする。
- ・ 施設の老朽化が進み、補修・更新時期を迎える施設が多くなることから、「事後保全」から「予防保全」型への転換を図り、新技術の積極的な活用により、これまで以上にライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

- ・ 漁村地域では、高齢化・過疎化が進行し、浜の活力の低下が懸念されることから、地域が一体となったブルー・ツーリズムの推進体制づくりを促進し、農林水産業や観光産業との連携強化による多様なネットワークやメニュー作りを行う。
- ・ また、都市住民等のニーズを把握し、漁村地域が持つ魅力について情報発信するとともに、漁業体験型の教育旅行の誘致や漁家での宿泊体験などの取組を促進する。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

- ・ 高齢化・過疎化により漁業就業者数は減少傾向であることから、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の発信提供、各種研修の実施等により、漁業就業に意欲的な人材を育成し、将来の漁業生産の担い手を確保する。
- ・ また、漁業就業者等の労働環境の改善、利便性の向上を図る施設整備を行う。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①流通拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
串木野	流通機能強化	生産基盤	串木野	3	
江口	流通機能強化	生産基盤	江口	2	
戸崎	流通機能強化	交付金	戸崎	2	

・串木野漁港

浮棧橋の整備により就労環境改善を図る。

・江口漁港

浮棧橋や岸壁屋根の整備により就労環境改善や衛生管理対策の推進を図る。

・戸崎漁港

外郭施設や用地を整備し安心・安全な漁業活動を確保し、安定的な水産物の供給を図る。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
—	—	—	—	—	—

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
さつま	資源管理	水産環境

・さつま海域

魚礁設置等により水産資源の回復及び増大を図る。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
串木野	安心・安全	機能強化	串木野	3	
江口	安心・安全	機能強化	江口	2	
戸崎	安心・安全	機能強化	戸崎	2	
蘭牟田	安心・安全	機能強化	蘭牟田	2	
串木野	予防保全	機能保全	串木野	3	
江口	予防保全	機能保全	江口	2	

中甌	予防保全	機能保全	中甌	4	
手打	予防保全	機能保全	手打	4	
唐浜	予防保全	機能保全	唐浜	1	
市来	予防保全	機能保全	市来	1	
吹上	予防保全	機能保全	吹上	1	
小島	予防保全	機能保全	小島	1	
青瀬	予防保全	機能保全	青瀬	1	
瀬々野浦	予防保全	機能保全	瀬々野浦	1	
片野浦	予防保全	機能保全	片野浦	1	
寄田	予防保全	機能保全	寄田	1	
土川	予防保全	機能保全	土川	1	
里	予防保全	機能保全	里	1	
芦浜	予防保全	機能保全	芦浜	1	

・阿久根漁港外 3 漁港

機能診断結果を基に、外郭施設や係留施設の耐震・耐津波・耐浪化の整備を進める。

・串木野漁港外 14 漁港

持続可能なインフラ管理の推進として機能保全計画に基づき漁港施設の機能回復を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
全域	地域活性化	ブルー・ツーリズムPR推進事業	全域		

・圏域漁港全域

農林水業や観光産業との連携強化による多様なネットワークやメニュー作りを推進。

都市住民等のニーズを把握し、漁村地域が持つ魅力について情報発信すると共に、漁業体験型の教育旅行の誘致や漁家での宿泊体験などの取組を促進する。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
全域		かごんま 漁師育成 推進	全域		
全域		漁業生産 の担い手 育成確保 事業	全域		

・圏域漁港全域

漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の発信提供、各種研修の実施等により、漁業就業に意欲的な人材を育成し、将来の漁業生産の担い手を確保する。

4. 環境への配慮事項

- ・当圏域は、薩摩半島西部にある日本三大砂丘のひとつ吹上浜に位置し、砂浜や岩礁などの変化に富んだ地形を有し、自然に恵まれた風光明媚な景観を形成している。
- ・漁港漁場の計画にあたっては、景観・環境に対する影響、既存の藻場や海底地形、潮流などに大きな影響を与えないよう配慮する。
- ・漁港漁場における各構造物の工事においては、周辺海域の自然環境や水生生物の生息環境に配慮し、必要に応じて自然環境と調和した構造物、工法等を採用する。

5. 水産物流通圏域図

別添、「鹿児島県 水産物流通圏域図」

6. 当該圏域を含む養殖生産拠点地域図



